

# 銀河レポート401

No. 29  
10月

発行日：平成29年10月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリウム  
電話：059-355-2700  
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

## 10月の星空

### 秋の四辺形

「秋の四辺形」は、10月中旬の午後9時頃、南の空の高いところに見つけることができます。少し暗めの星がきれいな四角形に並んでいることから、日本では「四隅星（よつまぼし）」、「樹形星（ますがたぼし）」などと呼ばれてきました。「秋の四辺形」は、星座では、ペガサス座の胴体の部分にあたります。背中から翼の生えた天馬ペガススが、夜空を逆さまになってかけ飛んでいるようにも見えますね。ちょうどペガススのお腹あたりにアルフェラッツという名前の星があります。アルフェラッツの意味は「馬のへそ」。確かにペガススのへその位置にあるので、ぴったりの名前なのですが、現在、この星はペガサス座ではなくお隣のアンドロメダ座の頭の星になっています。

### アンドロメダ銀河

古代エチオピア王家の王女の姿が描かれたアンドロメダ座には、有名なアンドロメダ銀河があります。アンドロメダ銀河の見かけの大きさは満月が5~6個並ぶ程ですが、実際の大きさは直径約10万光年（光の速さで進んでも約10万年かかる距離）もある星の大集団です。地球からは230万光年も彼方にある銀河ですが、肉眼でも淡い光を見ることができますので、ぜひ、夜空の暗いところで探してみてください。



GINGA PORT401内で撮影

### 秋の一つ星

南の空の低いところにぽつんと輝く明るい星が「秋の一つ星」と呼ばれるフォーマルハウトです。フォーマルハウトには「魚の口」という意味があり、みなみのうお座の口元に輝いています。秋の星空には明るい星が少なく、フォーマルハウトは唯一の1等星ですので、ぜひ、注目してみてください。みなみのうお座は、小さな魚が仰向けになった姿が、星座として描かれています。

### みずがめ座

みなみのうお座の上に、誕生日星座のみずがめ座があります。みずがめ座は、ギリシャ神話に登場する美少年ガニメデスが手に水瓶を持った姿が描かれています。水瓶には、神様たちが飲む不老不死のお酒が入っているということです。夜空で、そのこぼれたお酒をたどっていった先に、みなみのうお座が見つかります。みなみのうお座の小さな魚が口をあけて、神様たちのお酒を飲んでいるようにも見えますね。みずがめ座は明るい星が少ないので、フォーマルハウトと「秋の四辺形」の間あたりを探してみてください。水瓶の口のあたりに四つの星が三ツ矢の形に並んでいるのが目印です。

## 中秋の名月を眺めよう



今年の「中秋の名月」は10月4日（土）です。「中秋の名月」とは、月の満ち欠けを基準にした旧暦の8月15日の夜の月のことをいいます。旧暦では、7月、8月、9月は「秋」になり、8月15日はちょうど「秋の真ん中」に当たるため「中秋」と呼ばれています。「中秋の名月」を眺めるお月見の習慣は、平安時代に中国から伝わり、江戸時代に庶民に広まったといわれています。また、お月見には、秋の収穫に感謝するという「収穫祭」の意味も込められるようになりました。収穫物として、里芋をお供えする地域があることから「中秋の名月」は「芋名月」とも呼ばれています。同様に、旧暦の9月13日の「十三夜」という名月の日は、「豆名月」「栗名月」などと呼ばれています。ところで、今年の「中秋の名月」は満月の2日前です。「中秋の名月」はいつも満月になるわけではありません。毎日形が変わる月は、地球の周りを約1カ月かけて回っています。月は、楕円軌道を描いているため、地球に近い時と遠い時があります。地球に近い時は公転のスピードが速くなり、地球から遠い時は遅くなるため、満月になるまでの日数が大きく変化するのです。今年は満月手前の名月を楽しみましょう。

## 10月のガリレオ教室

### 〈太陽のひみつ〉

太陽ってどんな星？天文ボランティアが太陽のひみつについて分かりやすく解説します。そのあとに、天気が良ければ博物館屋上にて、太陽望遠鏡を使って、太陽を観察します。

日時：10月8日（日）  
①11：00から11：20  
②14：00から14：20  
場所：コズミックラウンジ



※ 当日の自由参加 参加無料



## ★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》場所：市民公園

- ①10月 4日（水）18時から19時30分 中秋の名月を見よう
- ②10月28日（土）18時から19時30分 半月を見よう

《博物館主催流星群観望会》場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所前  
10月21日（土）19時から21時 オリオン座流星群と秋の星空観望会

- ※天候不順時は中止です。
- ※当日の自由参加です。
- ※流星群の観望会では天文ボランティア主催観望会も同時開催します。
- ※流星群の観望会ではきらら号は出勤しません。

## 10月の月

6日  満月

12日  下弦

20日  新月

28日  上弦

## 編集後記

10月に入り、だいぶ過ごしやすくなってきましたね。秋の夜は、虫の音を聞きながら、月や星をじっくり眺めてみてはいかがでしょうか？10月21日には「オリオン座流星群」がピークを迎えますので、流れ星も楽しめそうです。今年は月明かりもなく、好条件です。流れ星は、空全体を広く見渡せる場所で探してみましよう。